

部局名	健康福祉部	所属名	国保年金課	所属長名	皆見 隆明	電話	483-1151 内線3150
-----	-------	-----	-------	------	-------	----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	9086	事務事業名称	出産育児一時金貸付金				短縮コード	経常	臨時	9086		
予算区分	会計	10	国民健康保険事業特別会計	款	08	保健事業費	項	01	保健事業費	目	03	出産育児一時金貸付金
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等		八千代市国民健康保険出産費資金貸付条例、八千代市国民健康保険出産費資金貸付条例施行規則							
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
平成14年から、被保険者の福祉の向上に寄与することを目的に開始。出産費用の支払いに困ったとき、世帯主に対し、無利子で資金を貸し付ける。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱 (章)	01	健康福祉都市をめざして					
平成21年10月1日以降に出産育児一時金の支給額引上げとともに始まった「出産育児一時金直接支払制度」においては、保険料の納付状況にかかわらず利用できることから、貸付件数は減少している。					大項目 (節)	03	社会保障					
					中項目	01	国民健康保険					
					小項目 (施策)	01	財政運営の健全化					
					細項目	02	医療費 (給付) の適正化					
					実施計画の計画事業							
計画事業の位置付けの有無			<input type="checkbox"/>	計画事業期間	～		計画事業費	千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	出産育児一時金の支給を受けることが見込まれる世帯の世帯主に、出産育児一時金の9割までを貸付。						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成21年度に実際に行ったこと: 世帯主から申し込みを受け、出産に要する費用を支払う為の資金として、出産育児一時金支給見込額の9割までを貸付。出産育児一時金の支給時に相殺。 ※平成22年度に計画していること: 21年度と同じ。						
意図 (何を狙っているのか)	被保険者の一時的な出産費用の軽減を図る。						
ねらい (上位施策の意図)	入力対象外						
区分	単位	20年度	21年度		22年度		
		実績	計画	実績	計画		
対象指標	指標1	出産育児一時金支給件数	件	262	300	256	288
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	出産育児一時金貸付件数	件	35	48	18	24
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1	一時的に経済的負担の軽減を感じている世帯	%	100	100	100	100
	指標2						
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	9086	事務事業名称	出産育児一時金貸付金		所属名	国保年金課	
	単位	20年度		21年度		22年度	
		実績	計画	実績	計画	実績	計画
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0		
		県	千円	0	0		
		地方債	千円	0	0		
		一般財源	千円	11,915	16,416	6,305	9,072
		その他	千円	0	0		
主な事業費の内訳			出産育児一時金貸付金	出産育児一時金貸付金	出産育児一時金貸付金	出産育児一時金貸付金	出産育児一時金貸付金
人件費 (B)		千円	259.2	253.6	253.6	253.6	253.6
トータルコスト (A)+(B)		千円	12,174.2	16,669.6	6,558.6	9,325.6	9,325.6

3. 事務事業の評価 (SEE)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	「出産育児一時金貸付金」は上位の施策「財政運営の健全化」にむけ実施しており、結びついている。			
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある				
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
目的妥当性	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	平成21年10月1日から開始された出産育児一時金直接支払制度とともに、継続して実施することが必要なため。			
		<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
目的妥当性	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある	出産育児一時金として支給が見込まれる世帯主に対して、無利子で貸し付けを行い、出産後に支給された出産一時金と貸付金を相殺する制度であり、民営化では、金利の発生する可能性があるため。			
		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
目的妥当性	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい	直接支払制度に対応していない医療機関からの支払請求があった場合でも、出産費用の負担が軽減される制度であるため、現状のままでよい。			
		<input type="checkbox"/> 見直す必要がある				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある	事務手続きは、保険料の納付状況により納付相談が必要になる場合があるため、臨時職員での対応や民間事業者等に委託することは、難しいと思われる。また、すでに情報システムを活用した事務処理を行っているため、現行以上の成果は望めない。			
		<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 両方可能性はある				
		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない				
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	類似事務事業名称	1		実施主体 (所管部署)
		<input type="checkbox"/> 臨時的任用職員等の活用				
		<input type="checkbox"/> IT化等の業務プロセスの見直し				
<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	2			実施主体 (所管部署)		
<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し						
<input type="checkbox"/> 上記以外の方法						
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> ある					
	<input type="checkbox"/> ない					

コード	9086	事務事業名称	出産育児一時金貸付金			所属名	国保年金課																						
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他			直接支払制度により、出産育児一時金の現物給付が図られたところであるが、対応していない医療機関等もあり、被保険者の一時的な出産費用の軽減を図るためにも、継続していく必要がある。																							
			<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続																										
		⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経費</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>不変</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不変</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経費			削減	不変	増加	成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不変	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	直接支払制度の対応医療機関等が増えれば、コストは削減する。	
		経費																											
		削減	不変	増加																									
成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																									
	不変	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																									
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																									

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
平成21年10月1日以降に出産育児一時金の支給額上げとともに開始された「出産育児一時金直接支払制度」に対応していない医療機関等がある（資金繰りの問題等から対応を延期する猶予期間あり）ことから、貸付制度の必要性が改めて各保険者に求められている。	

所属長コメント	<p>条例に基づく貸付制度であり、事務の効率化を図り業務を進めていく。なお、直接支払制度を利用していない産科医療機関での出産予定による貸付利用者が、結果的に直接支払制度を実施している産科医療機関で出産した場合に、二重給付的なことが発生し、返還手続きを行う必要があることから、申請段階からの業務対応について検討を要する。</p>	
評価調整委員会評価	<input type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。